

協設電 熊本市中心市街地で
120人が道路清掃



熊本県電設業協会(岩崎裕会長)の清掃ボランティアが17日、熊本市中心市街地の熊本高森線であった。12回目。熊本市役所を起点に2班に分かれて、大甲橋から桜町交差点間(約1.5キロ)を清掃。会員とその家族ら約120人が集まり、歩道や植木などに

投棄されたゴミを拾い集めた。出発式では、同協会安全福祉委員会の田中洋委員長が「活動が継続できるのも皆様のおかげ。現場と同様に安全第一で作業してほしい」と挨拶した。

西日本建設新聞 H26.5.22 454号掲載